

高耐久性・高意匠性を 両立する木質流動成形体の開発



～高品質とを感じるメノウ調模様の質感・色感評価とデザインの研究～

連携機関 | 独立行政法人産業技術総合研究所中部センター, 有限会社瑞穂, 名古屋木材株式会社, 東部工業技術センター

研究期間 | 平成25年度[競争的資金研究^注] 注) (独)JST 研究成果最適展開支援プログラム (A-STEP)

技術支援のきっかけ

- ◆ (独)産業技術総合研究所が開発した「木質流動成形技術」は、樹脂含浸した木材を固定した形に加工する技術で、自動車部品や携帯電話の外装などに利用できます。
- ◆ 加工した木材は、メノウ調模様や透光性などが特徴ですが、ユーザが高品質とを感じる質感・色感や特性を活かしたデザイン開発が必要でした。
- ◆ そこで、熊野化粧筆軸を対象に、質感・色感の評価方法を確立し高品質感のある製品開発を行いました。
- ◆ 西部工業技術センターは、質感・色感評価方法の確立と、デザイン研究に取り組みました。

技術支援の成果

- ◆ 化粧筆ユーザに感性評価と画像による判別分析に協力してもらい、高品質とを感じる質感・色感の特徴をモデル化しました。
- ◆ モデル化した特徴を数値化し、デザインに反映することができました。
- ◆ 従来の木軸では困難な、複雑な形に加工できる特徴を活かし、握りやすく薄肉で透過性が活きるデザインの耐水性化粧筆軸も開発しました。



技術支援の活用状況

- ◆ 有限会社瑞穂や名古屋木材株式会社により展示会を中心に市場開拓を進めています。
- ◆ 自動車内装材や、携帯電話等の家電外装、インテリア製品等での活用ができます。